

2021年1月20日

取手市長 藤井信吾様

日本共産党

取手市議会議員 関戸 勇

加増 充子

遠山 智恵子

小池 悦子

令和3年度予算編成に関する緊急要請

「コロナ対策特措法」に基づき、緊急事態宣言が発令された都府県をはじめ、感染拡大は爆発的に広がり、多くのところですでに医療崩壊も始まっていると見られています。茨城県における感染状況も1都3県等に準じて拡大、取手市は県内最高レベルで感染が拡大しています。

そのようなもとで、通常国会は18日から開催され、取手市は今、新年度予算編成の大詰めを迎えていることと思います。

日本共産党議員団は、すでに昨年9月28日令和3年度予算編成に関する要望書を提出させて頂きました。その後の全国・茨城・取手市内におけるコロナ感染拡大は、予測以上に爆発的に広がり、医療もひっ迫する中で、この危機をのりこえるための最大限の対策が政府も地方行政にも求められています。

昨年の予算要望書の中でも提案させて頂きましたが、コロナ感染の危機をのりこえるための対策をとるには、不要不急の事業は直ちに見直すことが必要です。中でも、市長が重点課題とする「取手駅西口開発」、および「桑原開発」に投入予定の予算については、その予算を市民の命と健康を守る為の検査や医療機関への支援拡大に、暮らしと事業者の営業持続・回復への予算と対策に振り向けるべきだと考えます。

以上のことから、以下の事項について緊急に求めるものです。

記

- 一. 「取手駅西口開発」に関しては、取手市施行の取手駅土地区画整理事業（駅前広場の整備含む）にとどめ、再開発事業（タワーマンション等建設計画）は、中止もしくは、取手市は撤退すること。
- 二. 「桑原地区開発」は中止、少なくとも凍結すること。 以上